

## 鉄筋挿入工に関する特記仕様書

### I. 適合性試験

1. 本工事では、鉄筋挿入工の設計に用いた地盤の極限周面摩擦抵抗の値を確認するため、適合性試験を実施するものとし、試験方法・試験結果の整理と判定については、「地盤工学会 地山補強土工法設計・施工マニュアル」によるものとする。なお、これに係る費用は、別途、技術管理費に積上げ計上している。
2. 試験位置  
適合性試験を行う位置については、監督職員との協議により決定するものとする。
3. 試験計画書の提出  
受注者は、試験計画書を監督職員に提出しなければならない。
4. 監督職員等による立会  
適合性試験の実施にあたっては、下記の事項について監督職員等の立会を受けるものとする。

時 期	確認項目	立会の程度
削孔時	削孔状況	地層毎に 1本
削孔完了時	削孔深さ、せん孔方向	
適合性試験用鋼材組立 時及び挿入時	使用材料、挿入状況	
グラウト注入時	流下時間	
適合性試験時	引抜き耐力	

5. 監督職員への報告  
受注者は、試験結果の整理と判定及び立会を受けた状況を監督職員に報告しなければならない。
6. 上記によりがたい場合は、監督職員と協議しなければならない。

※「地盤工学会 地山補強土工法設計・施工マニュアル」は最新版によるものとする。

## Ⅱ. 段階確認

種別	細別	確認時期	確認項目	確認の程度
鉄筋挿入工		削孔完了時	削孔深さ、せん孔方向	一般：1回／40本 重点：1回／20本
		鋼材組立時及び挿入時	使用材料、設計図書との比較、挿入状況	※削孔完了時からグラウト注入時までを同一孔で確認する。
		グラウト注入時	流下時間	
		受入れ試験時	計画最大荷重	一般：1回／1工事 重点：2回／1工事

・一般（監督）：重点監督以外の工事

・重点（監督）：下記の工事

（イ）主たる工種に新工法・新材料を採用した工事      （ロ）施工条件が厳しい工事

（ハ）第三者に対する影響のある工事

（ニ）その他